

情報連絡員だより

－平成 27 年 8 月分の報告より－

猛暑と長雨の影響が及ぶ

業種 / 景況天気図		概況
全	体	 月前半の猛暑・後半の冷夏・長雨等による天候不順により、売上や出荷・工期に影響が出ている。また、新卒を含む人材確保に苦慮している業界が多く、今後の採用動向を注視している様子。
製 造 業	食料品	 パン・菓子ともに月前半の猛暑の影響により売上が減少。製麺はお中元商戦の商品多様化から素麺を中心とした乾麺は苦戦、生麺は大手の寡占化が一層強まっている。酒造は例年並みに推移だが本醸造酒がやや苦戦。
	繊維・同製品	 婦人服地は例年より低調に推移。伊勢崎織物はホームセンター等から工芸品の展示・販売の話があり、伊勢崎緋の出品が内定するなど今後に期待。繊維製品は多品種少量生産で、採算確保に苦慮。
	窯業・土石製品	 生コンは官民需物件とも減少し厳しさが続く。コンクリートブロックは猛暑と長雨の極端な気象変化により工事が進まず出荷状況が悪化。砕石は全体の景況感は例年並みに推移しているが、沼田・吾妻地域では悪化。
	機械・金属	 富士重工等の大企業は高収益環境が続いているが、依然として続く厳しい短納期やコストダウン要請により、下請けメーカーの利益率は極めて低い状況。また、円安や賃金上昇による生産コストの増加を懸念。
	その他の製造業	 製材は荷動きが出てきたが、原材料の減少と単価上昇で収益性は悪い。印刷は需要減少の中、赤字受注もみられ、企業間格差がますます広がっている。紙加工品は大手や近県業者との競争激化で販売価格は下落傾向。
非 製 造 業	卸売業	 卸団地は大企業の採用枠拡大や選考時期の遅れにより新卒の人材確保に苦慮、今後の行方を注視。農産物卸は月後半より急激に天候が悪化、日照不足によりナス・トマト等の夏野菜の出荷量が激減し、価格が高騰。
	小売業	 燃料小売価格は値下がりが続き、仕入・販売ともに前月比 7～8 円/ℓ 下落。生花はお盆商戦は菊類をはじめ洋花類も品薄超高値という異常な市況に苦戦。商店街は猛暑とその後の長雨等の天候不順により来街者数が減少。
	サービス業	 伊香保温泉はお盆を挟んで前後も好調。一方、草津は宿泊人数が前年比やや減少。不動産取引は建売分譲が減少し、土地販売も低迷、土地価格の下落が続く。前橋の賃貸居住用物件はケヤキウオーク周辺が人気で供給不足。
	建設業	 電気工事は連日の猛暑により冷房関係の受注が増加も、人手不足が継続しており、やり繰りに苦慮。塗装工事は学校や県営住宅の改修が動き出したが、一般住宅の改修等が少ないため、受注量に企業間格差がみられる。
	運輸業	 野菜はキャベツ等が天候不順で前年比 7 割程に減少。一部荷主から値下げ要請があるが、人材確保による経費増で値下げできる状況にない。小口輸送は医薬品輸送が 7 月より新規に始まり、売上高・件数ともに増加。